

看護管理実態調査結果報告

「民医連のめざす看護とその基本となるもの」ブックレットの活用状況と改定に向けて

45期全日本民医連看護委員会
「民医連のめざす看護とその基本となるもの」
ブックレット改定チーム



<はじめに>

『民医連のめざす看護とその基本となるもの』 ブックレット改定チーム

『民医連のめざす看護とその基本となるもの』ブックレットは、2016年版として発刊され、43期ではファシリテーター養成研修を進める中で評価検討の進め方を変更するなど、活用・普及に向けて取り組みできました。

その一方で、「ブックレットの活用ができていない」「コロナ禍で研修が実施できず普及が進まない」等の声も聴かれることや、時代や情勢の本質を捉えることは、私たちが民医連の運動を進めていくための課題と方向性を見出すことにつながり、2016年以降の情勢の変化や今般の新型コロナウイルス感染症などブックレットへの加筆の必要性について看護委員会で検討し、45期の取り組みとしてブックレット改定を重点課題に掲げました。

ブックレット改定に向け、活用状況についての実態を把握するとともに、ブックレットに関する意見などを全国から集約し反映できるよう、今回、アンケート調査を実施しました。（『民医連のめざす看護とその基本となるもの』をブックレットと略します）

『民医連のめざす看護とその基本となるもの』 ～民医連の継承・発展のために～2016年版

ブックレット発刊の思い

…民医連の看護管理者が世代交代していく中、民医連の培ってきたものの認識が薄れがちになっている現状があります。また、国がすすめる医療政策のもと、患者の重症化、医療の重度化がすすみ、業務に忙殺されるあまり、掲げる理念と自分たちの実践がつながっていないという感覚や思いが語られることがあります。（中略）

このブックレットは、民医連の看護の歴史、民医連の目指す看護とその基本となるものを示し、日々の看護実践やカンファレンス、事例検討などに活かせる評価・検討シートと活用例を紹介しています。活用を通じて民医連の看護の継承・発展につないでいくことを期待します。

（『民医連のめざす看護とその基本となるもの』PI発刊にあたってより抜粋）

民医連のめざす看護とその基本となるもの

■民医連のめざす看護■

民医連の看護実践の根幹に日本国憲法と民医連綱領をすえ、すべての人が人間らしく、その人らしく生きていくことをあらゆる場で援助する無差別・平等の看護をめざします。

■民医連のめざす看護の基本となるもの（行動や判断のよりどころ）

【患者の見方・とらえ方】対象をどのように見るか、とらえるかの基本となるもの

患者観：いのちの平等と個人の尊厳

人間観：変革し発達する存在

疾病観：生活と労働の視点

医療観：患者・住民と医療従事者の共同のいとなみ

【看護の視点・優点】民医連の看護実践の基本となるもの

3つの視点：患者の立場に立つ、患者の要求から出発する、患者とともにたたかう

4つの優点：総合性・継続性、無差別性、民主性、人権を守る運動

【社会の見方・とらえ方】

患者や医療をとりまく社会、その時代や情勢をどのように見るかとらえるかの基本となるもの

いのち：人間の「いのち」にとってどうか

憲法：「日本国憲法」に照らしてどうか

綱領：「民医連綱領」に照らしてどうか



民医連のめざす看護とその基本となるもの ～民医連の看護の継承と発展のために～ 2016年版

【構成】

I. 民医連の看護の歴史

～民医連創設から今日までの看護の発展～

II. 民医連のめざす看護とその基本となるもの

III. 民医連のめざす看護の基本となるもの

～評価・検討シートの活用～

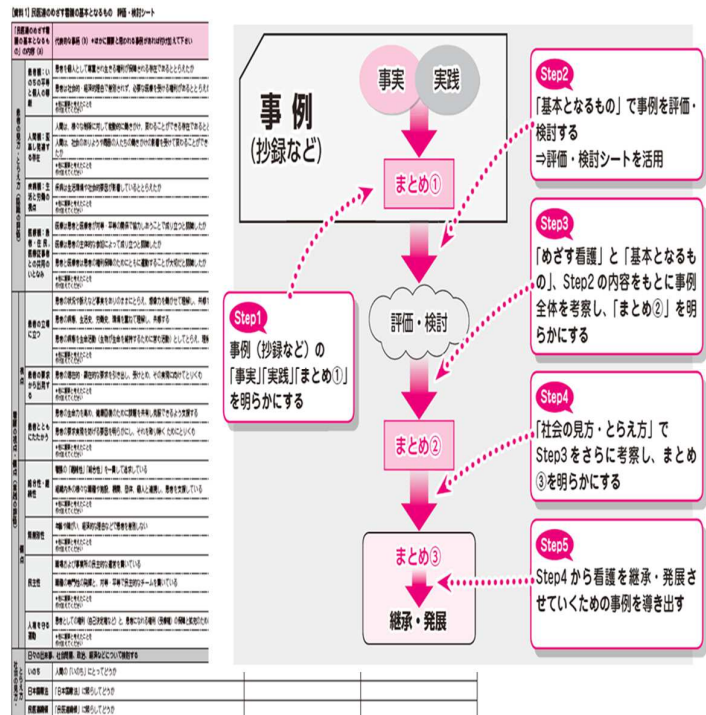
【資料】

(1) 看護活動年表

(2) 民医連の医療理念の確立について

(3) 現在看護論批判と私たちの立場

(医師: 肥田舜太郎, 1973)



< アンケート項目の概要 >

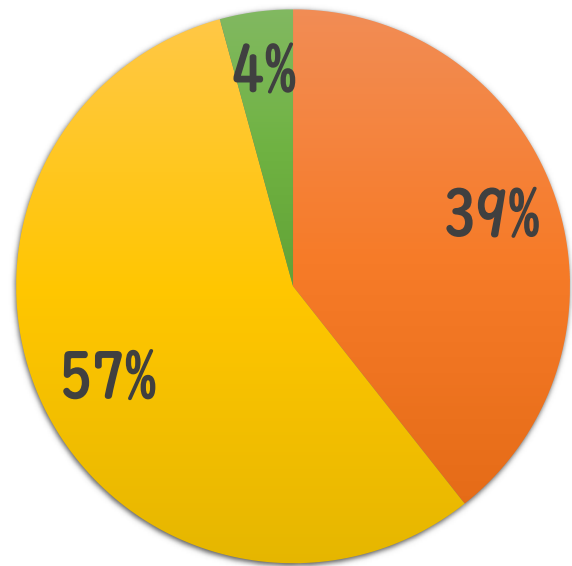
1. ブックレットの配布状況
2. 研修の状況
3. 評価、検討シートの活用状況
4. 活用時に工夫していること
5. 改定に向けての意見

< アンケートの回収状況 >

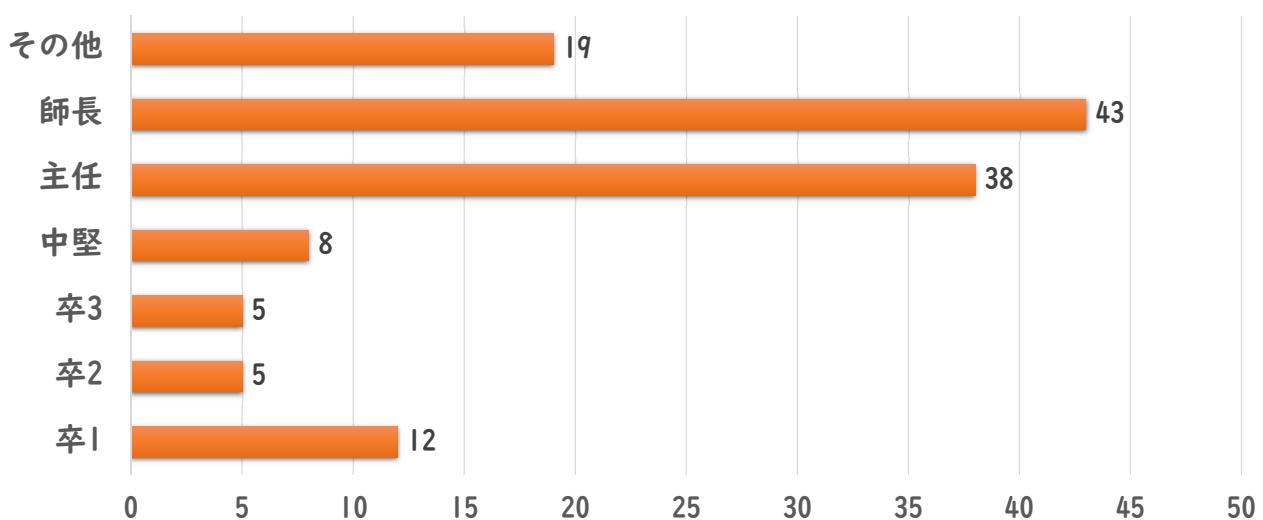
- 対象法人：100
- 回収法人数：94 (回収率94%)

1. 「ブックレット」の取り扱いについて (2017年度以降の配布状況) (n=94)

- 全看護職員に配布…37法人
- 一部の職員に配布…53法人
- 配布・購入していない…4法人



一部に配布した状況のうちわけ (n=53/複数回答)

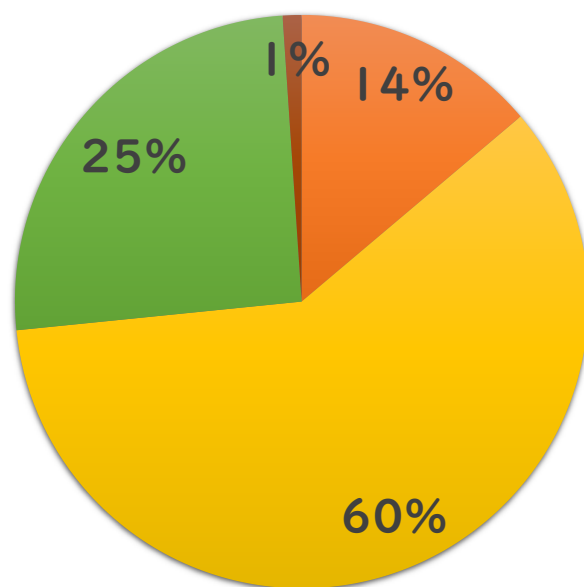


その他の配布状況

- ・教育員メンバーと各セクション
- ・職場に1冊
- ・発刊時(2017年)配布のみ
- ・希望者のみ

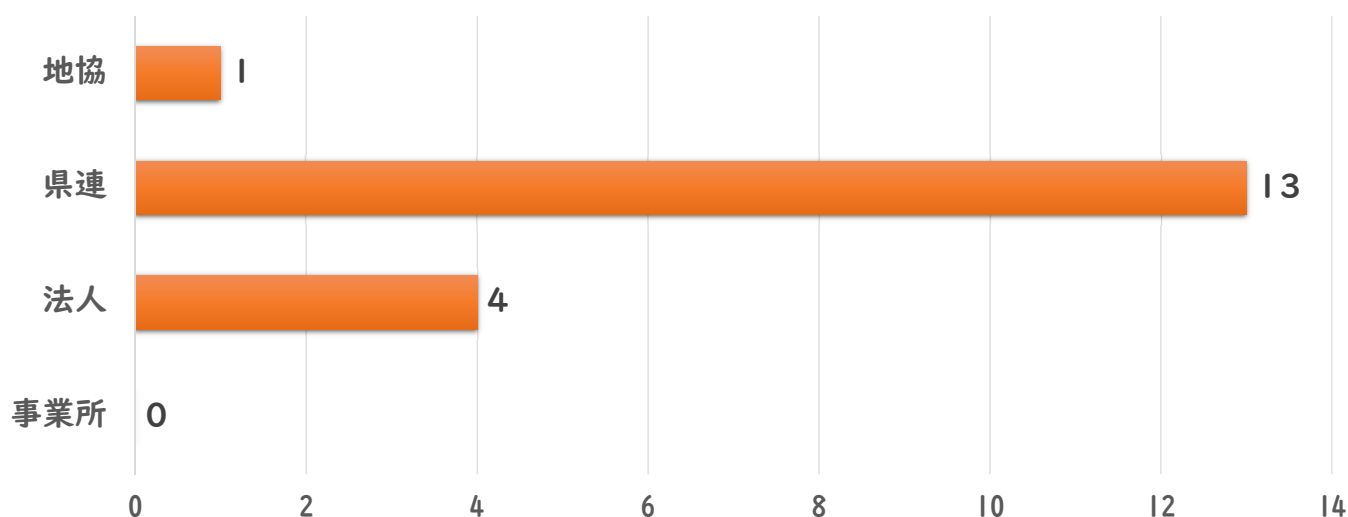
2. 研修実施状況 (n=94)

- ファシリテーター養成研修
…13法人
- その他の研修… 56法人
- 実施していない…24法人
- 無回答… 1法人



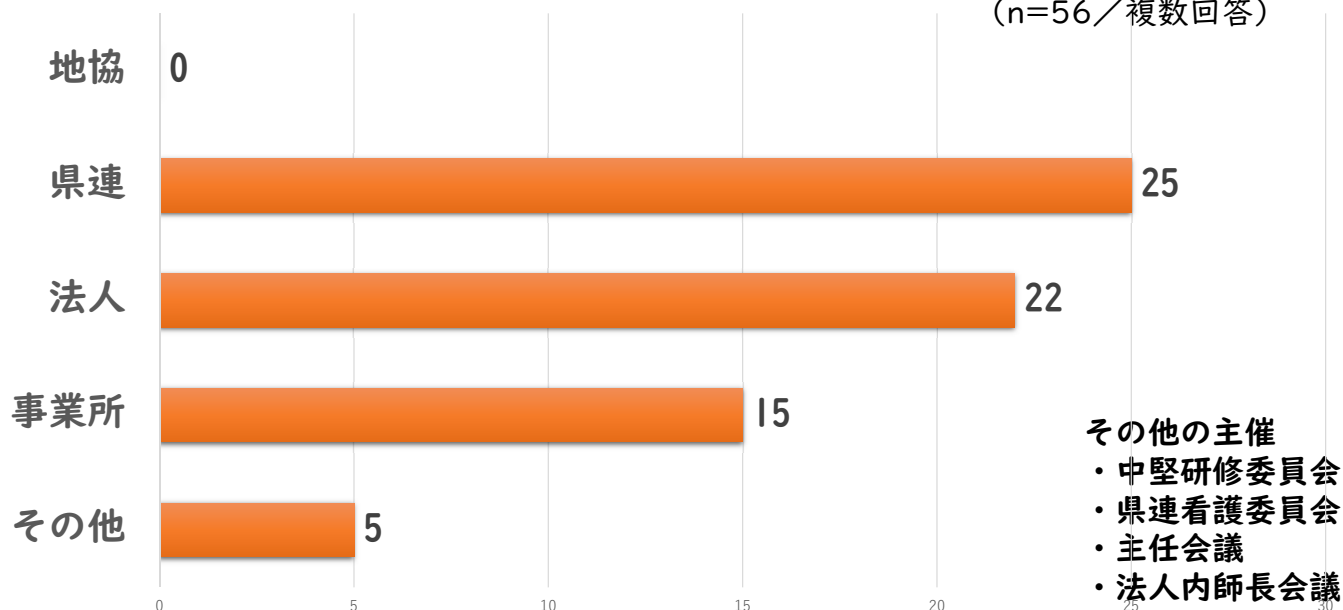
① ファシリテーター養成研修実施の主催

(n=13/複数回答)



② その他のブックレットに関連した研修の主催

(n=56/複数回答)



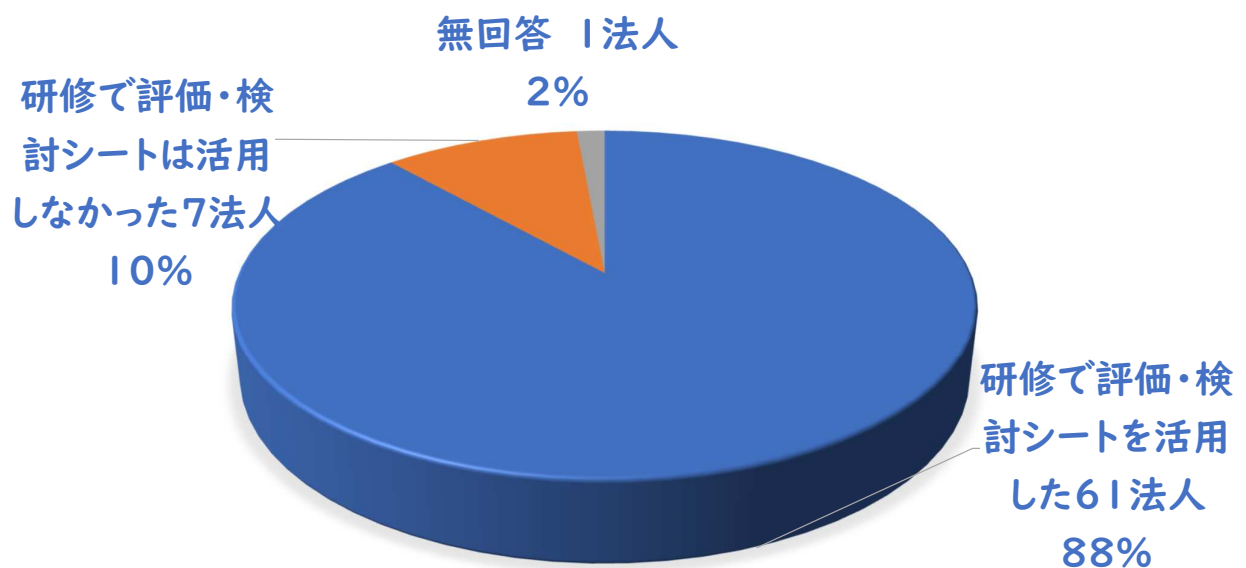
③ 研修内容

- ・ファシリテーター養成研修に参加した職員からの伝達学習
- ・ブックレットを使用し事例検討をした。
- ・ブックレット自体の内容の学習（全日本理事などを活用）

④研修や学習は実施していない理由 (24件)

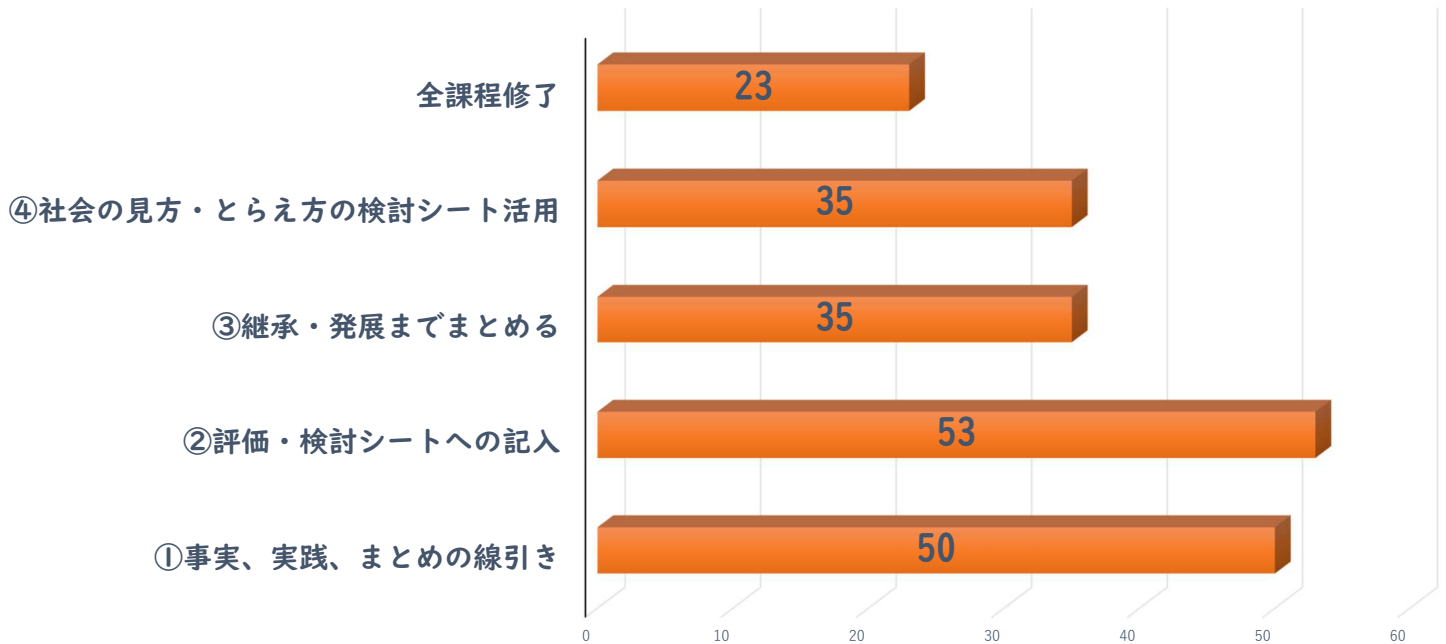
- コロナの影響による (7件)
- 法人看護部で作成している「健康権、看護実践のための手引き」をもとに研修をしていて、ブックレットと考え方が変わらないため使用していない。
- 学習したときから時間が経って薄れているが、根付いてはいる。
- ほかの課題があったり、取り組む時間がない
- 研修方法を模索中

3. 事例検討・評価検討シートの活用 (n=69)



事例検討ステップ状況

(n=69/複数回答)



研修で評価・検討シートは活用しなかった。 その理由や、研修内容

- 研修内で時間がなく、講演のみ終わった。
- シート内容が詳細なために混乱してしまい、県連で簡易版を作成、それを使用し時間内に終了
- 看護部全体で研修できず、各職場での活用になった

4. 日常的にブックレットの活用が進んでいる 取り組み、活用に向けて工夫していること

- 新入職員研修のオリエンテーションで活用
- 管理者研修、診療所師長研修
- 看介研での事例のまとめや査読で使用
- 事業所のラダーへ組み込んで研修実施
- PCを活用し、文章で評価検討シートへ入れて時間の短縮になった。
- 役職者対象に、社会・時代・情勢について検討シートを活用
- 気になる患者カンファレンスで使用している

5. ブックレットに関するご意見、 改定に向けての意見

- 4つの優点については、民医連と民医連以外の看護との違いは何か、例えば「総合性・継続性」については、地域包括ケアが進む中で、「人間らしく・その人らしく生きていく事を援助する」この「総合的な看護」というが、その事を明確に他者に伝えられるように表現できないか、SDHの視点や健康権をもっと看護活動に表現できないか、看護単体では十分にケアを提供できず多職種協働が求められる時代に、看護と協働するもの・・・の視点での本格的に討議して記述するなど。基本となるものは歴史的な到達の概要を学び、社会の見方、捉え方を学ぶ上で大切なことが書かれている。表紙にあるように、継承と「発展」、特にこれからの時代に「発展」させるために、もう少し深堀できたら、日々の看護の裏付けとしてさらに学べるものになると思う。

- 「看護の基本となるもの」をわかりやすく明文化し、考え方を整理できる素晴らしいツールだと思う。
- 日常の看護活動の中で活用できる簡易版があるとよい
- ファシリテーター養成講座を再度してほしい
- 全国で実践されている学習方法や実践の交流を企画してほしい
- 時間がかかって使いにくい、分かりづらい、説明しにくい
- 手軽に活用できない
- 事例集があれば参考になる
- 時代に即して歴史を追加してもよい
- 他事業所の取り組みも記載してほしい
- 用語解説集が欲しい

＜まとめ＞ アンケート結果から見えてきたこと

- 何らかの研修を実施しブックレットを活用していた法人は69法人で73%であった。その中で、評価検討シート活用で全過程活用した法人は23法人で回答法人全体の24%。全過程終了まではいかないが活用をした法人は46法人49%であった。

＜特徴点＞

- 民医連の看護の視点で事例検討するために活用されている。
- 研修として歴史部分や民医連の看護を学ぶための資料としても活用されている
- 評価・検討シートは全過程終了まで時間がかかって活用できなかったという意見が多かった。

第15回看護介護活動研究交流集会において

代理受診の事例を振り返る

『民医連のめざす看護とその基本となるもの』の評価・検討シートを用いて

○田中朋子 深山晴海 須藤久江 湯澤寿子 吉倉里絵
荒川生協診療所

『地域とともに産み・育み・看とる 第2弾』
本出版に向けて
～到達と今後の課題～

2022年度 全日本民医連看護介護活動研究交流集会
埼玉民医連 埼玉協同病院 岡田 美智子

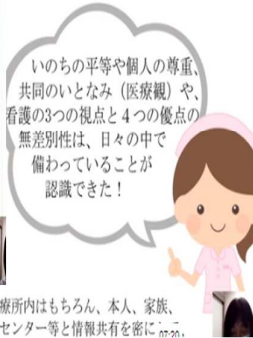
民医連のめざす看護とその基本となるもの講義と実践
講師：U統括看護部長・S診療所【看護長

3. 考察

民医連のめざす看護とその基本となるもの
～医療の現場で働く人々のために～



項目	内容
1. 評価	...
2. 検討	...
3. 考察	...



いのちの平等や個人の尊重、
共同のいとなみ（医療観）や、
看護の3つの視点と4つの優
点の無差別性は、日々の中で
備わっていることが
認識できた！

生活と労働の視点を深め、診療所内はもちろん、本人、家族、
ケアマネジャー、包括支援センター等と情報共有を密に...

見えなくても声が聞ければ。
～面会中止中の心のケアの取り組み～

前橋協立病院 療養型病棟
佐藤 真美子

戦争体験の聞き取りを通して
～平和について考える～

群馬中央医療生協 前橋協立病院
回復期リハビリテーション病棟 木村明美

いつの時代も、コロナ禍
の困難なかでも、日本
国憲法と民医連綱領を根
幹にすえ、最も困難な立
場にある人々に寄り添い、
3つの視点、4つの優
点実践され、民医連のめ
ざす看護は継承し発展し
続けている

研修生と共に学ぶ

～「民医連のめざす看護とその基本となるもの」
評価・検討シートを活用して～

熊本民医連 社会医療法人 芳野会 くみみ病院
夏堀 貞由美

「民医連のめざす看護とその基本となるもの」
評価・検討シート活用する

Step1: テーマを決める
「水俣病から基本的人権について考える」

Step2: 情報収集

- ミナマタ現地調査のまとめ
- ①水俣病が起きた原因、問題となる背景を知る
 - ②健康被害の事実
 - ③被害者の思いについて考える
 - ④熊本民医連のかかり方について考える。
熊本民医連の活動はなぜ必要であったのか
 - ⑤わたしたちができること 04-19

私たちの看護理念を実現するために
必要な看護管理者の力とは
山梨民医連看護管理者マネジメントラダー
導入にむけて



公益社団法人 山梨勤労者医療協
キャリア開発ラダー運営委員

地域の要求に応えるコロナ禍の看護実践

～発熱外来開設で
看護管理者に求められたもの～

第15回全日本民医連看護介護活動研究交流集会
石川勤労者医療協会城北病院 看護部 中西智美

今後の改定の方向性について

発行以降の歴史部分の追記や活用事例の掲載などを検討

・ブックレットは、患者を丸ごと捉えること、事実をありのままにとらえ情報を収集し、集団の力で分析し問題解決の道を探る、民医連の看護実践の基本となる3つの視点、4つの優点を、民医連の看護の実践と確信へと導く指針。

ひとつひとつの事例から学ぶことにこだわり、民医連の看護に確信を持ち、高い倫理観と変革の視点で、民医連の看護の更なる真価（深化）、継承・発展におけ、「民医連のめざす看護とその基本となるものブックレット」の改定と活用をめざす。



調査のご協力をありがとうございました。